

α₂作動性鎮静剤

劇薬、習慣性医薬品(注意-習慣性あり)、処方箋医薬品(注意-医師等の処方箋により使用すること)

デクスメデトミジン 静注液200μg/50mLシリンジ「ニプロ」
DEXMEDETOMIDINE INTRAVENOUS SYRINGE

デクスメデトミジン 静注液200μg「ニプロ」
DEXMEDETOMIDINE INTRAVENOUS

投与ポケットガイド

【効能・効果】

集中治療における人工呼吸中及び離脱後の鎮静

【用法・用量】

通常、成人には、デクスメデトミジンを6μg/kg/時の投与速度で10分間静脈内へ持続注入し(初期負荷投与)、続いて患者の状態に合わせて、至適鎮静レベルが得られる様、維持量として0.2～0.7μg/kg/時の範囲で持続注入する(維持投与)。また、維持投与から開始することもできる。なお、患者の状態に合わせて、投与速度を適宜減速すること。

【効能・効果】

局所麻酔下における非挿管での手術及び処置時の鎮静

【用法・用量】

通常、成人には、デクスメデトミジンを6μg/kg/時の投与速度で10分間静脈内へ持続注入し(初期負荷投与)、続いて患者の状態に合わせて、至適鎮静レベルが得られる様、維持量として0.2～0.7μg/kg/時の範囲で持続注入する(維持投与)。なお、患者の状態に合わせて、投与速度を適宜減速すること。

- 患者の循環動態が安定し、循環動態、呼吸等について継続的な監視体制が整った状況で投与を開始してください。
循環血流量が低下している状態で、本剤の投与を開始すると、血圧低下をきたすことがあります。
- ボーラス投与、急速な静脈内投与は避けてください。
- 徐脈があらわれることがあるので、このような場合には、本剤の減速又は中止、迷走神経の緊張を軽減する目的で抗コリン剤(アトロピン等)の静脈内投与、ペースメーカーの使用等、適切な処置を行ってください。

Richmond Agitation-Sedation Scale (RASS) スコア

スコア	患者の状態
+4	闘争的な状態
+3	高度興奮状態
+2	興奮状態
+1	落ち着きがない状態 不安又は心配そうであるが、動きは攻撃的でない又は活発ではない。
0	覚醒し、静穏な状態
-1	眠くうとうとした状態 完全に覚醒していないが、声に反応し、視線を合わせて持続的に(10秒以上)覚醒する。
-2	軽度鎮静状態 声に反応し、視線を合わせて一時的に(10秒以内)覚醒する。
-3	中等度鎮静状態 声に反応して動くが、視線を合わせない。
-4	深い鎮静状態 声に反応しないが、物理的的刺激に反応し動く。
-5	覚醒不能状態

人工呼吸中の鎮静のためのガイドライン：日本呼吸療法医学会

製造販売元
(資料請求先)

ニプロ株式会社

大阪府摂津市千里丘新町3番26号
<https://www.nipro.co.jp/>

2023年10月作成(MP)
[審2308246255]

デクスメトミジン持続投与速度 ▶▶▶

	初期負荷量 (1 μ g/kg)	維持量
時間	10分	10分～
投与速度	6 μ g/kg/時 (患者の状態に合わせて適宜減速)	0.2～0.7 μ g/kg/時 (患者の状態に合わせて適宜減速)

【集中治療における人工呼吸中及び鎮静】での使用時のみ、維持投与から開始することも可能

■ 初期負荷 (mL/時)

患者の体重 (30～100kg)	30	40	50	60	70	80	90	100
6 μ g/kg/時*1	45.0	60.0	75.0	90.0	105.0	120.0	135.0	150.0
3 μ g/kg/時*2	22.5	30.0	37.5	45.0	52.5	60.0	67.5	75.0

■ 維持投与速度 (mL/時)

患者の体重 (25～60kg)	25	30	35	40	45	50	55	60
0.2 μ g/kg/時	1.3	1.5	1.8	2.0	2.3	2.5	2.8	3.0
0.3 μ g/kg/時	1.9	2.3	2.6	3.0	3.4	3.8	4.1	4.5
0.4 μ g/kg/時	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0
0.5 μ g/kg/時	3.1	3.8	4.4	5.0	5.6	6.3	6.9	7.5
0.6 μ g/kg/時	3.8	4.5	5.3	6.0	6.8	7.5	8.3	9.0
0.7 μ g/kg/時	4.4	5.3	6.1	7.0	7.9	8.8	9.6	10.5

患者の体重 (65～100kg)	65	70	75	80	85	90	95	100
0.2 μ g/kg/時	3.3	3.5	3.8	4.0	4.3	4.5	4.8	5.0
0.3 μ g/kg/時	4.9	5.3	5.6	6.0	6.4	6.8	7.1	7.5
0.4 μ g/kg/時	6.5	7.0	7.5	8.0	8.5	9.0	9.5	10.0
0.5 μ g/kg/時	8.1	8.8	9.4	10.0	10.6	11.3	11.9	12.5
0.6 μ g/kg/時	9.8	10.5	11.3	12.0	12.8	13.5	14.3	15.0
0.7 μ g/kg/時	11.4	12.3	13.1	14.0	14.9	15.8	16.6	17.5

注：生理食塩液で最終濃度 4 μ g/mL に希釈した場合の投与速度 (mL/時) を示した。

★1：初期負荷量 1 μ g/kg を 10 分かけて持続静注した場合と等価になる。

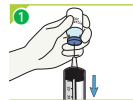
★2：初期負荷量 0.5 μ g/kg を 10 分かけて持続静注した場合と等価になる。

薬剤の調製法

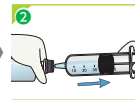
バイアル製剤の場合

- 本剤の取り扱いは、常に厳重な無菌手技で行ってください。
- バイアルは使用前にゴム栓をエタノール綿等で清拭してください。
- バイアルからの採取は 1 回のみとし残液は廃棄してください。
- 希釈後は 48 時間以内に ご使用ください。

調製例：



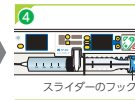
使用するシリンジに本剤 2mL (1 バイアル：200 μ g 含有) を吸入する。



①のシリンジに生理食塩液 48mL を吸引し、静かに振盪し、十分に混和する。
薬液濃度 = 200 μ g/50mL (4 μ g/mL)



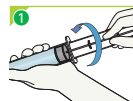
シリンジ先端部に触れないよう注意し、シリンジ内の空気を除去して注入ラインの接続部をしっかりと装着・ロックさせる。



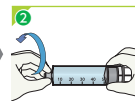
シリンジポンプの取扱説明書に従い、スライダのフックに確実にセットし、投与する。

シリンジ製剤の場合

シリンジ内の薬液は希釈調製されています。
使用直前に外袋を開封し、シリンジをシリンジポンプにつないでください。



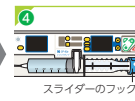
プランジャーを時計回りに回転させ、パレルにしっかりと接続する。



シリンジ先端のキャップをゆっくり回転させながら外す。



シリンジ先端部に触れないよう注意し、シリンジ内の空気を除去して注入ラインの接続部をしっかりと装着・ロックさせる。



シリンジポンプの取扱説明書に従い、スライダのフックに確実にセットし、投与する。

【効能・効果】、【用法・用量】、【警告】、【禁忌】を含む
注意事項等情報等の詳細は、電子添文をご参照ください。